



シェイクスピアの言語百科事典

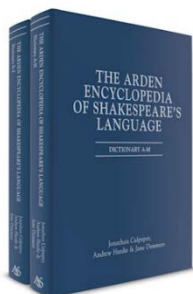
The Arden Encyclopedia of Shakespeare's Language

The Arden Shakespeare の権威ある事典 第 1 回配本

Culpeper, Jonathan / Hardie, A. / Demmen, J., The Arden Encyclopedia of Shakespeare's Language. 2 vols. 2023 (The Arden Shakespeare, UK) <251-46311>

ISBN 978-1-350-01795-5

*hard set ¥144,837 (税込)



本事典はコーパス言語学から派生した方法を用いてシェイクスピアの言語について包括的に編纂された最初のレファレンスです。

第 1 巻は A から M、第 2 巻は N から Z までの見出し語を収録し、シェイクスピアの言葉の用例とその意味に焦点を当てています。それぞれの語はシェイクスピアと同年代の作品から作成されたコーパスと比較され、シェイクスピアの言語の特徴などを明らかにしています。また、シェイクスピアの作品間における比較は、シェイクスピアの言語が作品によって大胆に変化していることを明らかにします。

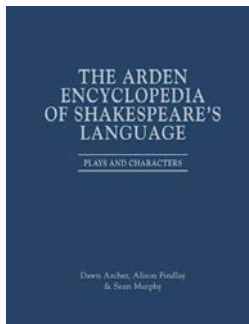
第 2 回配本 第 3 巻

Findlay, Alison / Murphy, Sean / Archer, Dawn, The Arden Encyclopedia of Shakespeare's Language: Plays and Characters. 768 pp. 2024:11 (The Arden Shakespeare, UK) <726-3>

ISBN 978-1-350-26193-8

hard ¥65,835 (税込)



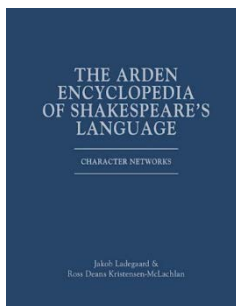


シリーズ第3巻である本書「劇とキャラクター」では、シェイクスピア劇のキーワードに焦点を当てています。劇のキーワードは、ある劇で使用されている単語と他のすべての劇で使用されている単語との間の統計的な比較によって導き出されます。登場人物については、ある登場人物の語彙と、同じ劇に登場する他のすべての登場人物の語彙との間の統計的な比較が行われます。

これらのキーワードはその後、各劇と主要登場人物の「言語プロフィール」を作成するために使用されます。このプロフィールは、キーワード周辺の単語のパターンが劇のテーマや主人公のキャラクター描写にどのように貢献しているかを明らかにします。例えば、「ジュリアス・シーザー」では、シンプルな言葉である「Goodnight (おやすみなさい)」がどのように劇的な緊張感を高めているか、また「ロミオとジュリエット」では、ジュリエットの最も特徴的で一見無害な言葉である「if (もし)」、「yet (まだ)」、「but (しかし)」が、彼女のキャラクターの重要な側面を作り出しているかなどを明らかにしています。

第3回配本 第4巻

Ladegaard, Jakob / Kristensen-McLachlan, Ross Deans, The Arden Encyclopedia of Shakespeare's Language: Character Networks. 368 pp. 2025:1 (The Arden Shakespeare, UK) <726-7>
ISBN 978-1-350-26027-6 hard ¥38,038 (税込)



シェイクスピア劇の中核にあるのは会話であり、登場人物同士が言葉を交わすことで、社会的な共同体が形成されます。本書は、コンピュータを用いた社会的ネットワーク分析を用いて、シェイクスピア劇全作品の言葉による共同体を初めて提示、探求、比較するものです。

本書「キャラクターのネットワーク」はシリーズ第4巻にあたり、シェイクスピアが言葉で何をするのか、というもう一つの側面、つまり社会世界を創造することに焦点を当てています。同盟関係などが登場人物や物語をどのように形作るか、劇中の共同体におけるジェンダー、社会的・地理的差異を明らかにし、批評でしばしば見落とされがちな脇役の機能に読者の注意を促します。何よりも本書は、シェイクスピア劇で重要なのは、登場人物が話す言葉だけでなく、彼らが誰と付き合っているのかということでもあることを示します。

本書は、シェイクスピア劇ごとに、キャラクターのネットワークの規模と密度に関する情報だけでなく、視覚的なネットワーク表現も提供しています。また、各劇に、登場人物の社会的結びつきの重要性、強さ、数量に基づいて中心性を測定する得点表も掲載されており、さらに各劇についてのわかりやすい解説では、ネットワークデータの顕著な特徴を浮き彫りにして、それが劇の理解にとって何を意味するのかを説明しています。最終章では、シェイクスピア作品のネットワークを比較することで、より広範なパターンを探ります。